

令和6年度第1回千葉県体育学会大会 シンポジウム実施概要

- ◆日時：令和6年5月11日（土） 13:40～15:10
- ◆会場：千葉大学西千葉キャンパス 教育学部2号館2202教室
- ◆進行：馬場宏輝（千葉県体育学会理事・帝京平成大学・市原市部活動の地域移行に係る検討会議会長・長生郡睦沢町地域クラブ活動推進協議会アドバイザー）

テーマ「千葉県における部活動の地域移行に関する現状と課題」

趣旨：

昨今の部活動の地域移行は、2022（令和4）年12月にスポーツ庁・文化庁により発表された、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」により展開されているものである。その中で、学校部活動については「教育課程外の活動である学校部活動について、実施する場合の適正な運営等の在り方を、従来のガイドラインの内容を踏まえつつ示す」、新たな地域クラブ活動については「学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す」、学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備については「まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進」とし、令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推期間として地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指すこととした。

このガイドラインに至るまでの経緯については、2017（平成29）年告示・2021年全面実施の中学校学習指導要領において、部活動について「学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。学校や地域の実態に応じ、地域の人々の協力、社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行い、持続可能な運営体制が整えられるようにするものとする」ことが示された。また部活動において、校長の監督を受け、技術的な指導に従事する「部活動指導員」が2017（平成29）年に学校教育法施行規則の改正により制度化された。

2018（平成30）年に「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」が発表され、「少子化が進展する中、運動部活動においては、従前と同様の運営体制では維持は難しくなっており、学校や地域によっては存続の危機にある」、「運動部活動を持続可能なものとするためには、速やかに、運動部活動の在り方に関し、抜本的な改革に取り組む必要がある」として、「学期中は、週当たり2日以上以上の休養日を設ける」、「1日の活動時間は、長くとも平日では2時間程度、学校の休業日は3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う」ことなどが示された。

2020（令和2）年にスポーツ庁から「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」が示され、改革の方向性として「部活動は必ずしも教師が担う必要のない業務であることを踏まえ、部活動改革の第一歩として、休日に教科指導を行わないことと同様に、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築する」ことが示された。

2021（令和3）年10月に「運動部活動の地域移行に関する検討会議（第1回）」が開催され、令和4年6月に「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」が発表される。改革の方向性としては「まずは、休日の運動部活動から段階的に地域移行していくことを基本とする」、目標時期については「令和5年度の開始から3年後の令和7年度末を目途」、「平日の運動部活動の地域移行は、できるところから取り組

むことが考えられ、地域の実情に応じた休日の地域移行の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進」することが示された。

そして、冒頭の「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（スポーツ庁、令和4年12月）」に至り、令和5年度から「地域スポーツクラブ活動体制整備事業（部活動の地域移行等に向けた実証事業）」が始まっている。

そこで本シンポジウムでは、部活動の地域移行の実質的な担い手となる千葉県内の市町村と、これらの自治体と国との間で地域移行を進める県が、令和5年度時点でどのような体制づくりや事業を展開しているのか、また令和6年度以降どのような取組を計画しているのか等について、事例や課題等を発表していただく。この話題提供により、部活動の地域移行が現在どのように進んでいるのか理解することを狙いとする。

※本シンポジウムは、各自治体関係者等への話題提供と、千葉県体育学会のPRも兼ねて、学会員以外も参加できるオープンなプログラムとして実施いたします。

【シンポジスト】

1. 今宮 公雄 様（千葉県教育庁 南房総教育事務所 地域クラブ活動総括コーディネーター）
2. 桑田 秀幸 様（千葉市教育委員会 学校教育部保健体育課 部活動地域移行担当課長）
3. 桐谷 芳孝 様（市原市地方創生部地方創生課 部活動地域移行アドバイザー）
4. 角田 康治 様（鋸南町教育委員会 B&G海洋センター 所長）

【タイムスケジュール】

1. 趣旨説明：馬場 13:40～13:50（10分） ※シンポジストの紹介含む。
2. 千葉県の取組み：今宮 公雄 様 13:50～14:05（15分）
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/taiiku/gakutai/bukatudoutiikiikou.html>
3. 千葉市の取組み：桑田 秀幸 様 14:05～14:20（15分）
https://www.city.chiba.jp/kyoiku/gakkokyoiku/hokentaiiku/tiikiikou/tiikiikou_annai.html
4. 市原市の取組み：桐谷 芳孝 様 14:20～14:35（15分）
5. 鋸南町の取組み：角田 康治 様 14:35～14:50（15分）
6. シンポジストによる意見交換・質疑応答 14:50～15:10（20分）

以上